

CLTって何だろう？

—CLTが日本の建築の新たな扉を拓く—



CROSSING FOREST

中央区晴海（CLTパーク晴海 内）にOPEN!

家族で楽しく遊べる!
地球の環境が学べる!

入場無料



木の本を読もう

木や森、木の建築をテーマにしたさまざまな本をそろえています。



動画で学ぼう

タブレットで好きな動画をご覧になれます。

- ☐ 木の精(せい)のぼうけん
- ☐ CLTのけんちく
- ☐ 隈研吾(くま・けんご)さんにインタビュー
- ☐ CLTができるまで



木と一緒に遊ぼう

木の洞窟を探検したり、木のおもちゃなど、木に囲まれた遊びのスペースがあります。

簡単なアンケートに答えて 木のグッズをもらおう

タブレットで簡単なアンケートに答えると、オリジナル木のグッズ(カップ麺キーパー)を差し上げます。



CROSSING FOREST

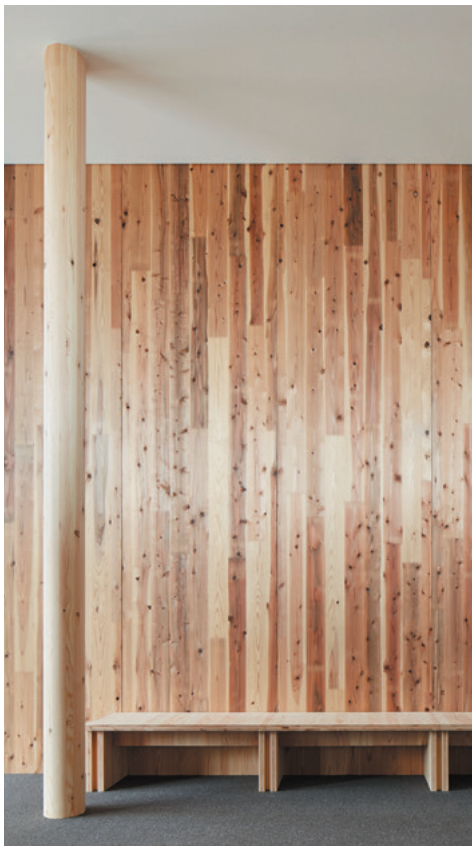
所 在：〒104-0053 東京都中央区晴海3-2-15 CLT PARK HARUMI 内
交 通：電車 勝どき駅(都営大江戸線)A3出口から徒歩5分
バス 都バス「晴海三丁目」下車、徒歩約1分
開館時間：10:00～18:00

未来を創るCLT

CLTとは…(直交集成板・Cross Laminated Timber)

ひき板を横に並べ、層ごとに直交するように重ねたCLT。

既存の木材より強度が高く、大きな木材を作れるので、今まで鉄やコンクリートが当たり前だった分野にも木材のチャンスが生まれます。構造材としてだけでなく、内装材や家具、玩具として、また、林道など土木分野でも利用されるなど、これまでになかった使い方やデザインを実現させる可能性を秘めた素材です。



つくばCLT実験棟の2F



高性能でエコロジー。新たな木材「CLT」



国内で製造可能な最大のCLTパネル(幅3m×長さ12m、銘建工業)

地震に強い。火にも耐える。

CLT建築は地震に強い

～振動台実験において震度7にも耐える～

2015年にE-ディフェンス(世界最大の3次元振動台)において実施された実大振動台実験では、阪神淡路大震災の観測波(震度7)よりも大きな加力に対して倒壊しませんでした。



防災科学技術研究所の3次元振動台“E-ディフェンス”で実施された実大振動台実験。写真の5階建と3階建の試験建物に対して、阪神淡路大震災の観測波よりも大きな加力を入力し、変形量、破損部位を調べ、倒壊しないことを確認。

CLT建築は火にも耐える

～CLTは1分間に1mmしか燃えない～

CLTなどの木材厚板は、火災時に表面に炭化層(断熱層)を形成しながらゆっくり燃えることが実験により確認されています。



日本住宅・木材技術センターの耐火炉で実施された、CLT現し壁の準耐火構造加熱実験。木材が毎分約1mmの速度でゆっくり燃え進むことを利用して、厚さ90mmのCLTが1時間で約60mm燃えた際にも壁が燃え抜けないことを確認。

住む、働く。木の中で。

日本でもどんどん増えているCLTの建築

CLTは1995年ごろからオーストリアを中心として発展してきました。現在ヨーロッパをはじめ世界各地でさまざまな建築物に利用されています。日本でも、戸建て住宅から、学校や商業施設といった中・大規模施設、中高層の集合住宅など、さまざまな施設に活用が進んでいます。



CLT PARK HARUMI/パピリオン棟



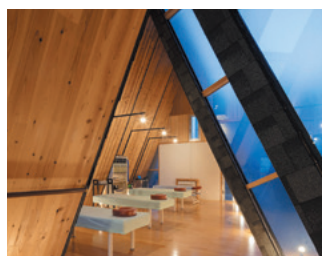
つくばCLT実験棟



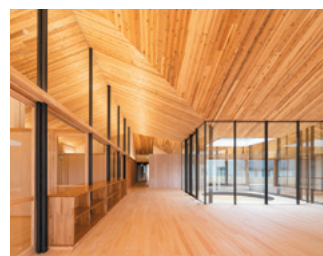
北川村温泉ゆずの宿



PARK WOOD 高森



大牟田整骨院併用住宅



香南市総合子育て支援センター



高知県森連会館

